

事例から学ぶ 住民の潜在能力を発揮させる保健指導

📅 12月5日 やつしろハーモニーホール

平成25年度第3回生活習慣病重症化予防事業・実践学習会

飯田女子短期大学非常勤講師の熊谷勝子氏を講師に迎え、「住民の潜在能力を発揮させる保健指導の実践～事例を基にした具体的な保健指導の学習～」と題して開催。市町村から保健師や管理栄養士・栄養士、看護師、事務職の計176人が参加した。

学習会も今年度3回目だが、講師から毎回新しい情報が提供され、少しずつ切り口を変えながら読み取りを深める内容となっている。今回は、食べた物が体の中でどのように利用されているか、リポ蛋白の基礎知識、CKDにおける脂質異常などについて学習した。また、尿蛋白2+者一覧表や、ポピュレーション資料を使用してのレポート等を使いながらの学習も行った。



📅 12月6日 鏡保健センター

平成25年度第3回保健指導充実に向けた検討会

前日の実践学習会に引き続き、熊谷氏を講師に迎えて開催。モデル14市町から計100人が参加した。

参加者は毎回、講師からの事前課題に対し、さまざまな資料を作成して検討会に臨んでいる。資料は脳や心臓、腎臓を守るために、重症化予防の視点から科学的根拠に基づいて保健指導対象者を明らかにするもので、今回はその中から尿蛋白2+者一覧表からの読み取りについて重点的に、また、CKDガイドラインにより腎臓についても学習し、課題解決に向けて具体的に検討した。



健診と医療費データを分析し活用して 重症化予防、医療費適正化につなげる

📅 12月17日 水前寺共済会館

熊本県保険者協議会保健事業部会・医療費分析部会合同部会

熊本県保険者協議会が健診と医療費データの分析を目的として開催。構成員である各医療保険者や熊本県などから約40人が参加した。

事務局が、保健事業におけるデータ活用の必要性と具体的な活用例、保健指導支援ツールの活用法などについて、資料に沿って説明した。

また、事業として健診データの集計と分析に取り組んでおり、平成23年度における健保組合、協会けんぽ、市町村国保・国保組合のデータ分析資料から、県内におけるそれぞれの状況（位置）や課題などを確認した。

